

# 平成29年度 山口市立小郡中学校 学校経営ビジョン

## 校 訓

真 理      自 律      敬 愛      寛 容      勤 労

## 学校教育目標

高い知性と豊かな情操を有し、自主・創造の力と敬愛の心にあふれ、勤労と責任を重んずる、心身共に健康な実践力のある人間の育成に努める

## 目指す学校像

地域から愛され、地域に貢献する学校

## 目指す生徒像

よりよく生きようとする生徒

～学習力（学びに向かう力）と人間性（社会的自立に向けて必要な力）の向上を目指す生徒～

**真 理** 「なぜ」を大切にし、粘り強く本質にせまろうとする生徒

**自 律** 行動の結果を反省し、「教訓」を好ましい習慣へと形成できる生徒

**敬 愛** 自分を「愛」する心をもって人を「愛」することのできる生徒

**寛 容** 行われた行為を斟酌し、「許す」ことができる生徒

**勤 労** 「仕事（ボランティア活動）」を通して地域に貢献できる生徒

## チャレンジ目標

時を守り、場を清め、礼を正す

※ よりよい人間関係や信頼関係のもとで、一人ひとりが安心して過ごせる学校であれば、個や集団が常に成長しようとする充実した学校となる。

※ 生徒の幸せと成長につながる視点をもった教育活動の展開

## ◎ 重点取組事項

### キャリア教育の視点に立った教育活動の推進

#### よりよく生きようとする生徒の育成

～学習力(学びに向かう力)と人間性(社会的自立に向けて必要な力)の向上を目指して～

#### <よりよく生きるとは>

- ・どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか
- ・どのように社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現していくか
  - ※主体的・対話的で深い学びを通して
  - ※教育活動全体を通して

#### <学習力(学びに向かう力)>

- 今学んでいることが将来何の役に立つのかを意識した授業や活動の展開(今の学びと将来をつなぐ)
  - ・今学んでいることが将来何の役に立つのかを意識した授業を展開することにより、学習意欲の向上を図る。
  - ・学校での学びが生活や社会や仕事につながることを伝え、内発的動機付けによる学習意欲の向上を図る。
  - ・ストーリー性のある体験活動(事前・事後指導の充実した職場体験等)により、学習意欲の向上を図る。
  - ・将来につながる声かけ(キャリア・カウンセリング)～今の学びや活動や行為が将来の何につながっているのかを価値づける声かけにより、学習意欲の向上を図る。

※ここでいう学習意欲とは、受験のためだけのものではなく、生涯にわたって主体的・能動的に学び続けようとする学習意欲であり、生きる力につながるものと捉える。

※日々の教育活動の中で、将来の生き方や学習の意義を理解させることがキャリア教育。

#### <人間性(社会的自立に向けて必要な力)>

- 社会的自立に向けて必要な力の育成
  - ・社会で必要とされる能力や態度(基礎的・汎用的能力)を育成する。
  - ・「何を教え覚えさせるか」から「何ができる卒業生に育てるか」への転換。
  - ・ふるさとのよさに気付かせ、誇りをもたせ、自己肯定感につなげる。 など

#### キャリア教育

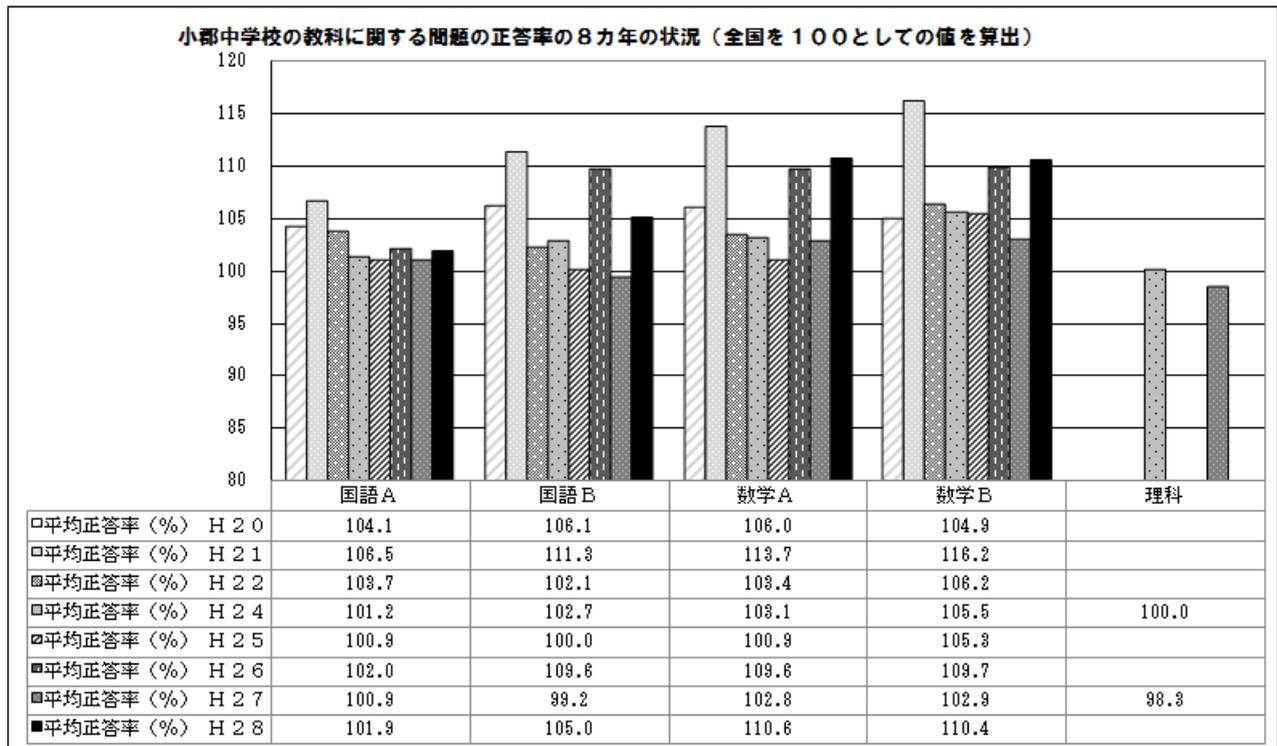
社会的自立に向けて必要な力を育てることを通して、  
社会の中で自分の役割を果たしながら、  
自分らしい生き方を実現していくことを促す教育



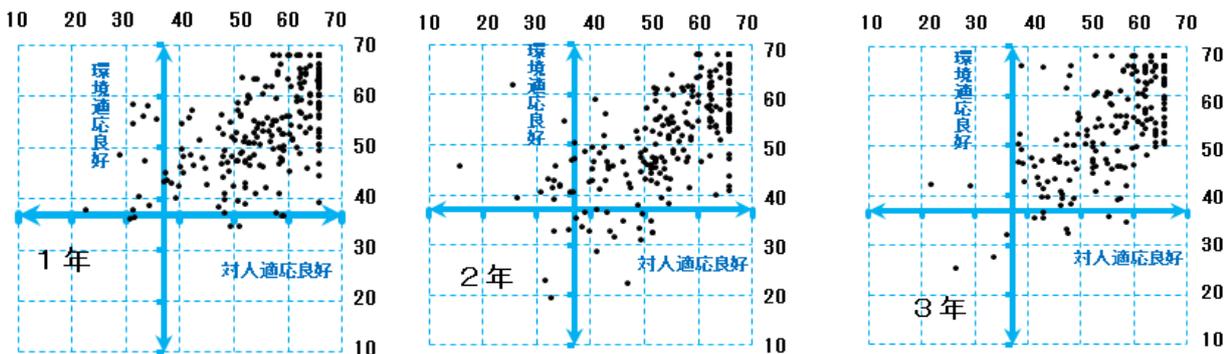
一人前の社会人に育てる教育

# ■本校の現状と課題

## 1 生徒



過去9カ年（平成23年度は除く）の全国学力・学習状況調査においては、年度によって多少の差はあるものの、これまでいずれの教科についても全国平均をほぼ上回っており、本校では生徒の学力が確実に定着してきたことがうかがえる。特に数学科は好成績を収め続けてきており、山口県教委が早くから進めてきた少人数指導加配教員制度が、本校においても成果として着実に実を結んできている。また、小郡地域小中連携プランでは、昨年度から、学力向上に向け、「オールおごおり」で取り組む学力向上プロジェクトでの共通取組事項の実践を進めるなど、小中連携の成果も実を結びつつある。

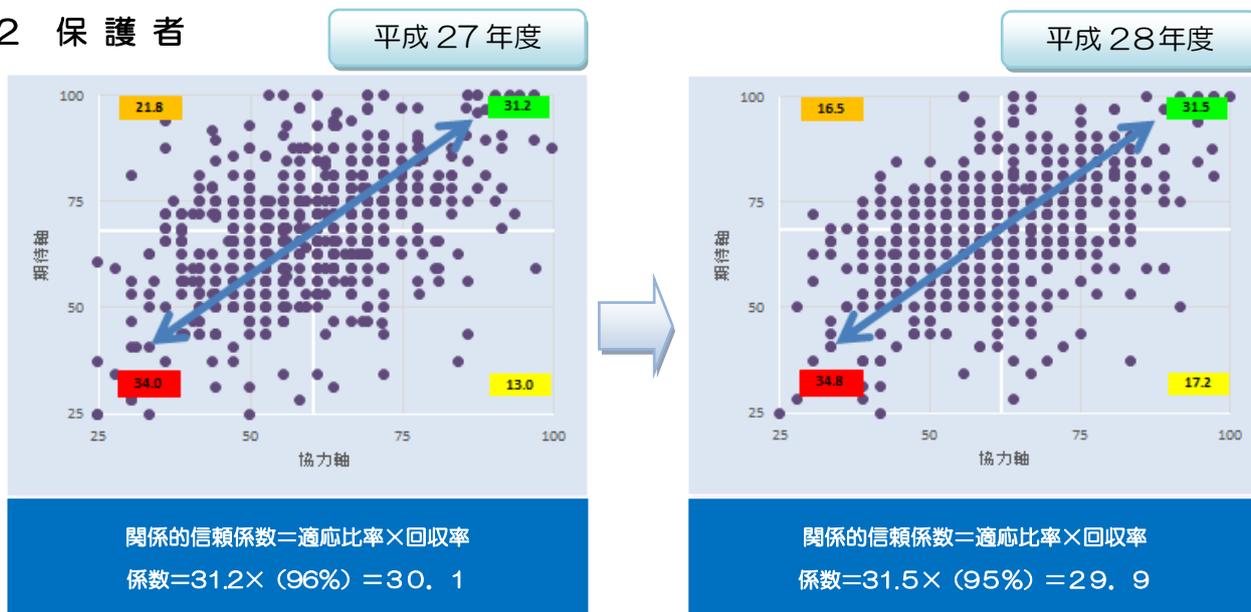


11月(28年)

分類	側面① Q1.8,15,23 【生活満足】	側面② Q3.10,17,24 【教師支援】	側面③ Q5.12,19 【家庭支援】	側面④ Q2.9,16,22 【友人関係】	側面⑤ Q6.13,20 【社交性】	側面⑥ Q4.11,18,25 【安心感】	側面⑦ Q7.14,21 【学習】	側面⑧～⑩ 【環境適応感】	側面⑧～⑩ 【対人適応感】	側面⑪ 【学習適応感】	側面⑪～⑬ 【総合適応感】
通 応	基準値 92.2%	92.2%	93.1%	90.8%	93.3%	92.0%	92.6%	89.7%	88.7%	92.6%	89.9%
1年	95.8%	95.8%	96.3%	95.3%	95.3%	96.7%	96.3%	97.2%	93.5%	96.3%	97.7%
2年	92.0%	93.4%	94.7%	93.8%	96.0%	94.7%	95.6%	91.2%	90.7%	95.6%	92.0%
3年	96.5%	96.0%	94.4%	95.5%	98.5%	97.5%	92.9%	94.9%	97.5%	92.9%	96.0%
全校	94.8%	95.0%	95.1%	94.9%	96.6%	96.3%	94.9%	94.4%	93.9%	94.9%	95.2%
要 注 意 (37以下)	基準値 7.8%	7.8%	6.9%	9.2%	6.7%	8.0%	7.4%	10.3%	11.3%	7.4%	10.1%
1年	4.2%	4.2%	3.7%	4.7%	4.7%	3.3%	3.7%	2.8%	6.5%	3.7%	2.3%
2年	8.0%	6.6%	5.3%	6.2%	4.0%	5.3%	4.4%	8.8%	9.3%	4.4%	8.0%
3年	3.5%	4.0%	5.6%	4.5%	1.5%	2.5%	7.1%	5.1%	2.5%	7.1%	4.0%
全校	5.3%	5.0%	4.9%	5.2%	3.5%	3.8%	5.0%	5.6%	6.3%	5.0%	4.8%
要 確 認 (32以下)	基準値 3.0%	2.8%	2.0%	2.2%	2.3%	2.3%	3.0%	4.4%	4.9%	3.0%	4.2%
1年	0.9%	0.9%	1.4%	0.5%	0.5%	1.4%	1.4%	0.0%	3.3%	1.4%	1.4%
2年	2.2%	3.1%	2.2%	1.8%	1.8%	1.3%	0.9%	2.7%	2.7%	0.9%	3.1%
3年	2.0%	1.5%	3.0%	0.5%	0.5%	1.5%	3.0%	1.0%	1.5%	3.0%	2.0%
全校	1.7%	1.9%	2.2%	1.0%	1.0%	1.4%	1.7%	1.3%	2.5%	1.7%	2.2%

また、生徒の生活適応状況について、11月に実施した生活アンケート（Fit）の結果を示したものが前頁の図であり、対人と環境を合わせた総合適応感では、「適応」の範囲内に95.2%の生徒が入っており、基準値の89.9%と比較して高い数値を示していること、「要確認」の2.2%も基準値の4.2%を下回る数値を示していることから、生徒の集団への所属感を高めるための様々な方策やきめ細かな教育相談の対応が効果的に繋がってきているといえる。また、昨年度課題のあった「学習適応感」（昨年度92.0%）についても93.9%と基準値の92.6%を上回るなど、本校の授業改善の取組が確実に結果に表れてきている。

## 2 保護者

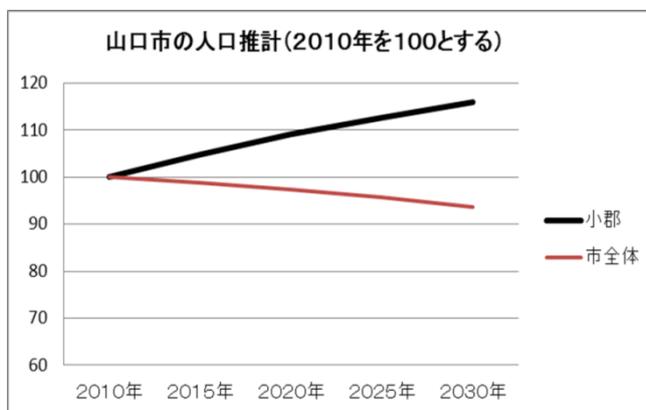


愛媛大学と共同で、実施した保護者アンケート（P-TRUST）の2年間の分析結果を示したものが上図である。結果として、保護者の本校に対する信頼度を図る指標といえる関係的信頼係数は平成26年度25.5であったものが平成27年度30.1へ大きく上昇した。平成28年度は平成27年度に比べ、適応層の値が31.2から31.5へと上昇したものの、回収率の低下により若干低下し、29.9となった。概ね信頼を得ていると判断できる数値が28であることから、保護者から信頼される学校づくりが着実に進んできているといえる。本校教育への保護者の期待度と協力度の2つの側面から詳細に見ると、（葛藤型）17.2、（依存型）16.5、（回避型）34.8であり、昨年度に比べ依存層の保護者が減少し、葛藤層の保護者が増加した。今後は葛藤層の保護者の期待感が向上するよう、教育活動の工夫・改善等に努めていく必要がある。

## 3 地域

山口市南部に位置する小郡地域は、新山口駅等を擁する山口県の交通の要所であり、人口約2万5千人の市内で最も住民の多い、マンモス地域である。市全体では、平成22年度から人口減少に転じているが、推計によると、小郡地域だけは市内でも唯一、今後も人口増加が見込まれており（右図）、さらなる発展が大きく期待されている活力ある地域である。

地域には3小学校があり、ほとんどの卒業生が本校に入学してくる。豊富なマンパワーに支えら



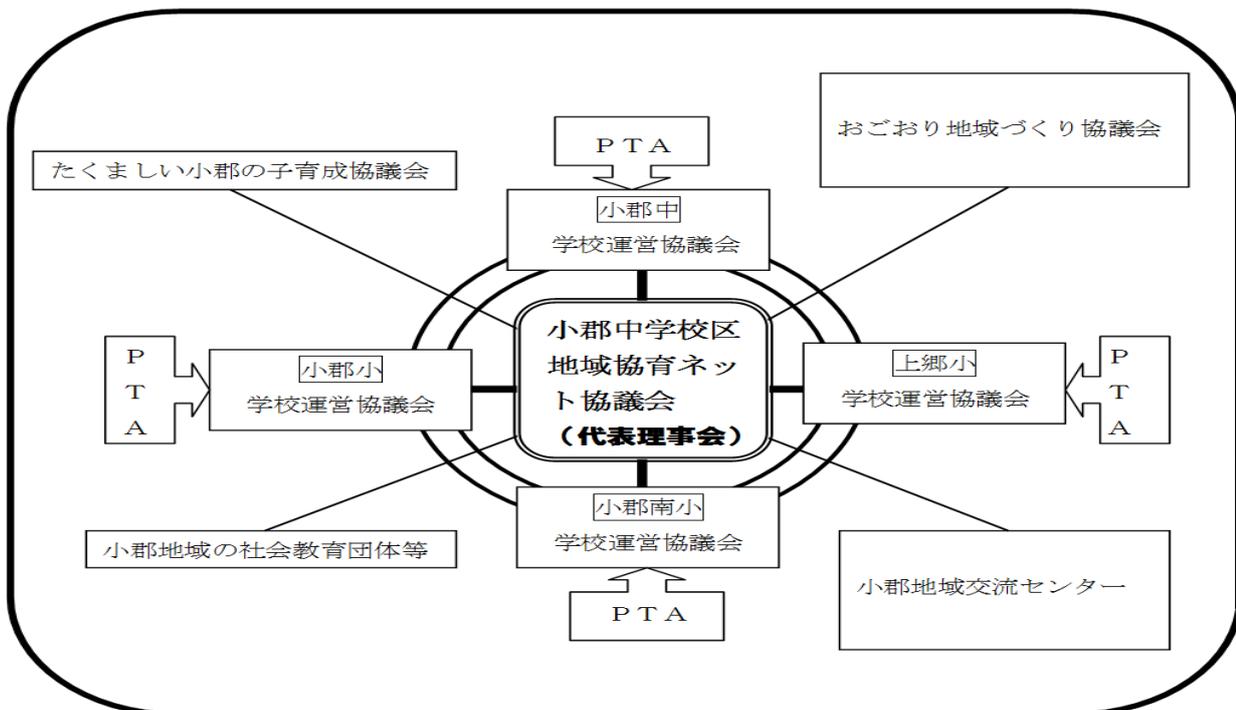
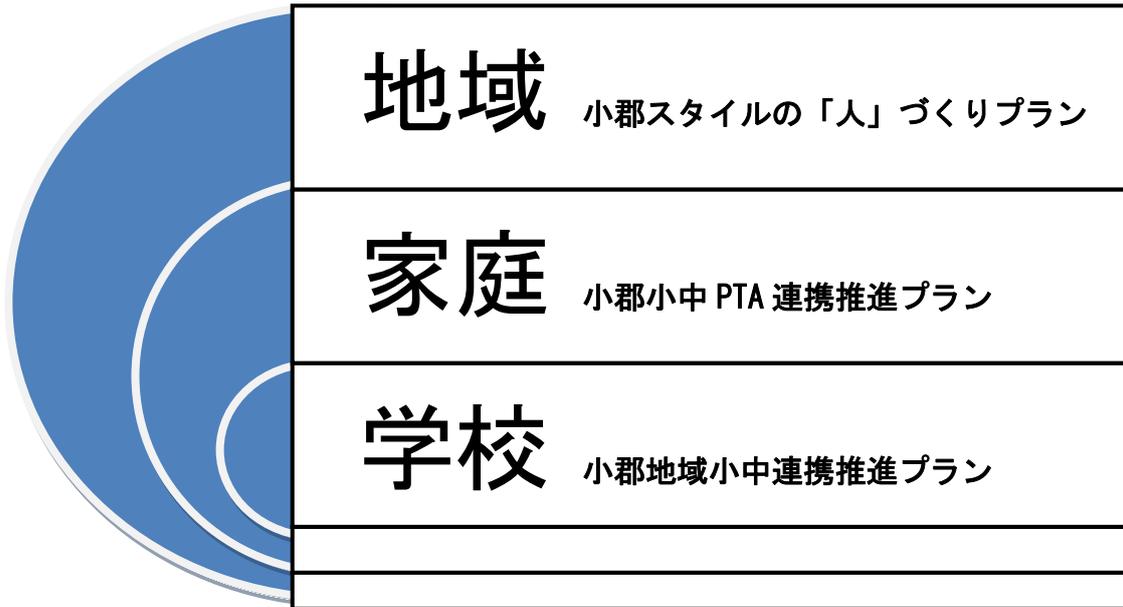
れ、教育に造詣の深い人材も多く、地域が持つ教育力のポテンシャルは極めて高い。地域づくり計画では、「交通の利便性を生かし、山口市南部の核となるまち」を将来像として描き、事業テーマとして「地域のブランド化」を前面に押し出して、スケールの大きな地域活動が活発に展開されてきている。

# 小郡教育ブランド化プロジェクト

～小郡中学校区地域協育ネット～

知、徳、体 のバランスがとれた、  
地域の明日を担う子どもの育成

— 子どもが安心・安全に育つまちづくり（3年次） —



# 小郡教育ブランド化プロジェクト

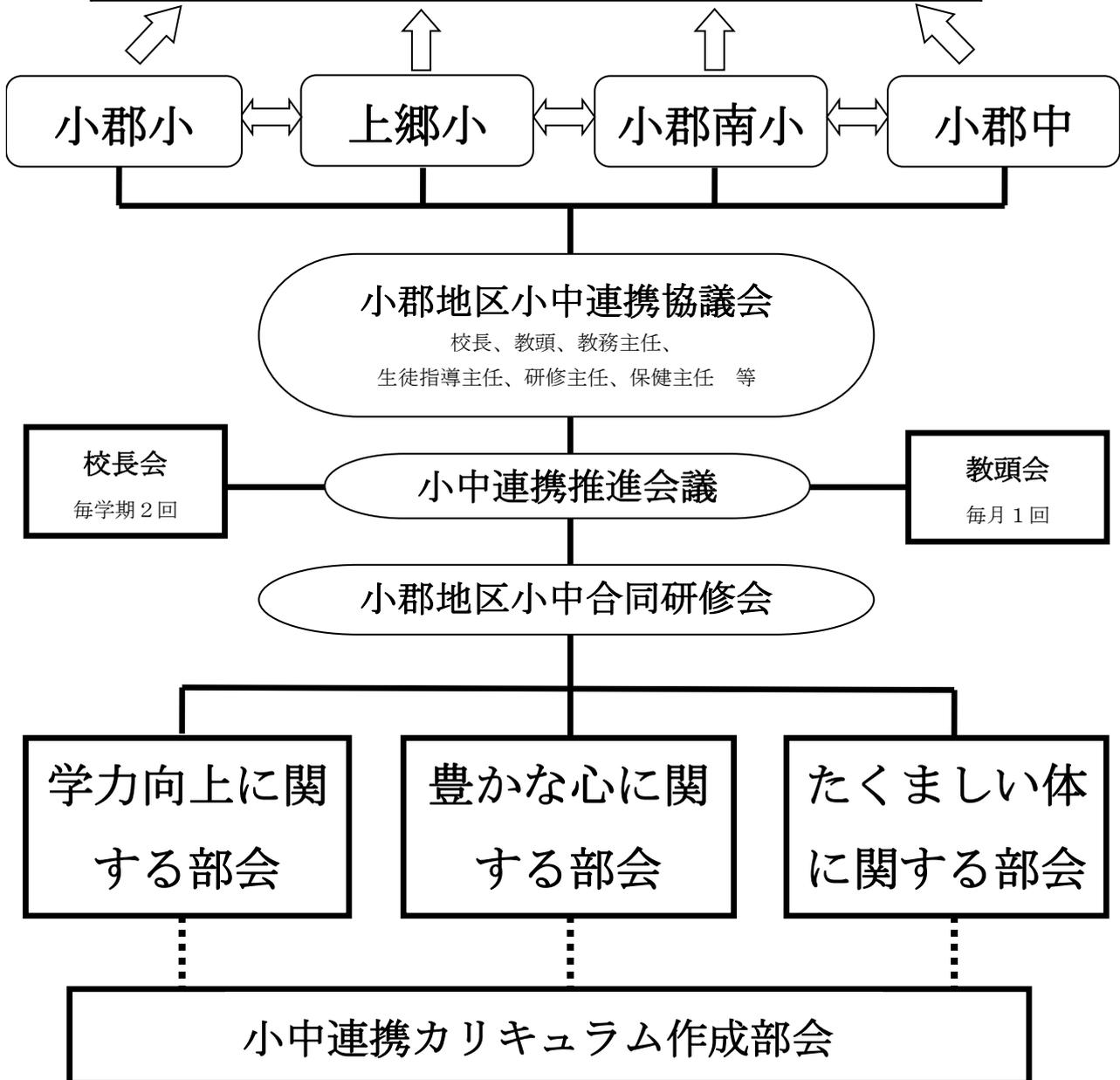
## —小郡地域小中連携推進プラン—

4校そろって一層信頼される学校へ！

P-TRUST関係的信頼係数 35→36

知、徳、体 のバランスがとれた、  
地域の明日を担う子どもの育成

— 子どもが安心・安全に育つまちづくり（3年次） —



## ■小郡中学校のミッション

本校の現状及び本校をとりまく様々な状況等を総合的に判断して、3年をめどに中期的に定めた目標を本校のミッションとして以下のとおりとする。

- 一人ひとりの生徒の「生きる力」の育成を保障する教育の推進
- キャリア教育の視点に立った教育活動の推進
- 「小郡教育ブランド化プロジェクト」(小郡中学校区地域協育ネット)の確実な推進
- 「小郡地域小中連携推進プラン」の確実な推進
- コミュニティ・スクールを核とした地域に貢献できる一流の学校づくりをさらに推進

一層信頼される学校 (小郡教育のブランド化)

P-TRUST 関係的信頼係数 29.9→35.0

## 小郡中学校「生きる力」育成プロジェクト

